

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県立林野高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒707-0046  
岡山県美作市三倉田58-1

E-mail : hayashino@pref.okayama.jp

Website : www.hayasino.okayama-c.ed.jp

児童生徒数：男子 166 名 女子 175 名 合計 341 名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、総合的な学習の時間を My Dream Project (MDP) と名付け、生徒一人一人の自己の在り方生き方を考える思考・実践の全てを包括する活動と捉え、学年の枠を超えた異年齢集団を基盤にして全校で取り組んでいる。

中山間地域に位置する本校では、MDP 活動を通じて、持続可能な地域社会の形成者としての資質を持つ人材育成が重要であると考え、生徒が自分の興味・関心のあるグループに所属し、それぞれが地域の課題解決とグループ目標達成のために活動を行っている。

以下は、MDP の主な活動内容である。

(1) 4月14日 ESD 研修会

「総合的な学習の時間」(MDP)の活動説明とともに、「ESD とは何か。MDP とどのような関係にあるのか。」等についての研修を行った。今年度は「人と人」「自然と自然」「人と社会」といった「つながり」を意識し、地域や社会の持続可能性を視野に入れて活動を行っていくことを全体で共有した。

(2) 6月3日 デアイ場(地域の達人講座)

「デアイ場」とは、地域に出かけて「地域の達人」からお話を伺ったり、本物に触れたりする活動であり、この活動を通して生徒は自分が設定した課題解決のための糸口を見つけていった。

(3) 7月10・11日 MDP 強化日

6月のデアイ場で生徒が獲得した新たな視点や課題解決の糸口を深めるために、各グループが、地域へ出向いたり講演を聞いたりするなどの活動を行った。そして、課題解決のために何を実践していけばよいのかについて考えるヒントを得た。

(4) 9月27日 むかし倉敷ふれあい祭り

「むかし倉敷ふれあい祭り」とは、「総合的な学習の時間」に各グループが取り組んだ課題解決の実践の場として、本校周辺の商店街をお借りし、本校と地域の方が協働して企画・実施しているものである。この祭りの中で、展示を行ったり商品を販売したりしながら、地域の方々との交流を深め、地域活性化に貢献しようとした。

特に、今年度は地域の伝統踊りでありながら後継者不足により断絶していた代官踊りを20年ぶりに復活させ、地域の方々とともに商店街を練り歩くという、地域文化の復興にも貢献した。

(5) 12月16日 実践報告会

各グループ各チームで1年間の活動を分析し、成果と課題をポスターセッション形式で発表・全体で共有した。この報告会で、生徒たちは他のグループの活動について深く理解し、自分たちの活動と対比させながら、新たな視点を得ることができた。

